

この度は、KJ-914K：コイルスプリングコンプレッサーをお買い上げ頂きまして誠にありがとうございます。  
本製品は、軽自動車から乗用車のストラット専用コイルスプリング圧縮ツールです。

正しく安全にご使用いただくため、作業前に必ず本取扱説明書を熟読いただき、内容を十分にご理解いただいた上で、注意事項を遵守してご使用ください。

また、各作業車両毎にメーカーの整備要領書を用意し、注意事項、基準値、作業ポイントなどは、メーカー指示に従って作業を行ってください。

コイルスプリングの圧縮には、想像以上の大きなトルクが掛かります。誤った使用方法、保守点検の怠り、改造などを行うと、工具の破損または性能を発揮できず、コイルスプリングが外れて、人身に関わる重大な事故につながる恐れがあります。

作業時には、作業者自身はもちろん、周囲の状況にも注意をはらい、不測の事態に備えてください。



## ▲安全上の一般的注意事項▲

◇作業用途に適する、正しいツールをお選びください。カタログ・取扱説明書で指定している作業以外に使用しないでください。

また、適合サイズ・適合範囲以外の作業に使用しないでください。本製品は作業用途に応じて、適切な素材・熱処理・表面処理を施しております。したがって、お客様自身で本製品の加工・改造などを行うことは、強度不足などの原因となり非常に危険ですので、絶対にしないでください。

◇作業中は防護服を着用し、不測の事態に備えてください。

安全ゴーグルなどで目の保護をしてください。また、防塵マスク、イアープロテクターなど作業に応じて着用してください。周囲の人や状況にも十分配慮して作業に入ってください。

◇取扱説明書を熟読した上で、正しく本製品をご使用ください。

「これで良かったかな？」と少しでも不安に思ったら、即作業を中止して、取扱説明書を確認してください。

取扱説明書は、すぐに確認できる場所に保管してください。紛失の際には、販売店または当社宛にご請求ください。(有償)

◇作業前後には、本製品のメンテナンスを必ず行ってください。

作業前に、本製品の各部品が、欠けてないか？、亀裂や変形がないか？必ず確認してください。

また、ネジ類がスムーズに可動するか？摩耗してないか？グリスが切れていなか？を必ず確認してください。

作業後は、本製品のコンディションを保ち、損傷などを発見するためにも、十分に汚れを落としてから保管してください。

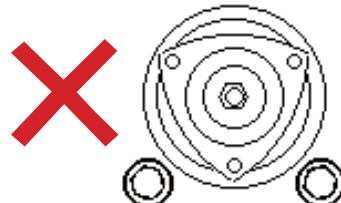
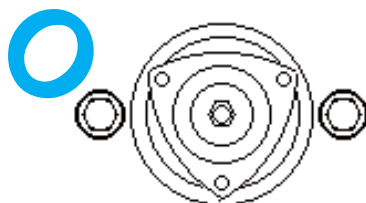
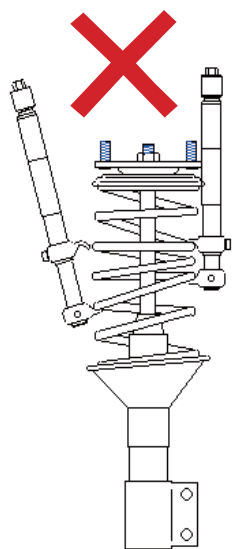
また、本製品に貼り付けられている、注意書きなどのステッカーが剥がれたり、汚れてしまったときには、販売店または当社宛にご請求いただき、元通り貼り付けてください。(有償)

**重要** 注意事項

コイルスプリングコンプレッサー：KJ-914Kのお買い上げ頂きまして誠にありがとうございます。  
 本製品は、安全クラッチなどのセーフティー機構の組み込まれた信頼性の高い工具です。  
 しかし、正しい使用方法で作業されなかった時には、重大な事故に発展する恐れがあります。  
 コイルスプリングの圧縮は、不慮のトラブル発生により、死亡事故の原因にもなる危険な作業です。  
 本製品のご使用にあたっては、この注意書きを熟読していただき十分に内容をご理解いただいた上で、  
 有資格者が取扱説明書の指示を遵守して作業を行ってください。  
 これらの注意事項に反する使用方法による、故障・ケガ・事故は保証の対象外となります。

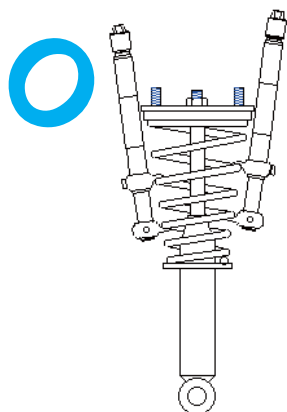
  
**禁止事項**

- <！> 本製品は、国産車のストラットに使用されている、通常のコイルスプリング専用です。競技車両の Springs やベンツなどウィッシュボーンのスプリングには絶対に使用しないでください。
- <！> 自動車整備に関する有資格者以外の方は使用しないでください。
- <！> 本製品には、ハンマー等を絶対に使用しないでください。作動が固い場合は、本製品の修理・オーバーホールを行ってください。
- <！> インパクトレンチのエア圧力は、作動時 0.6MPa(約 6kg-cm<sup>2</sup>) 以下で使用してください。過度な圧力で使用すると、安全ピンが破断し、本体各部に金属疲労が発生します。
- <！> 本体 2 本は、必ず 180 度対向する位置で必ず使用し、コイルスプリングが湾曲するような状態を避け、必ず数回転ずつ交互に締め込んでください。1 本のみ締めおよび片側だけの早送りは、絶対に行わないでください。(図参照)



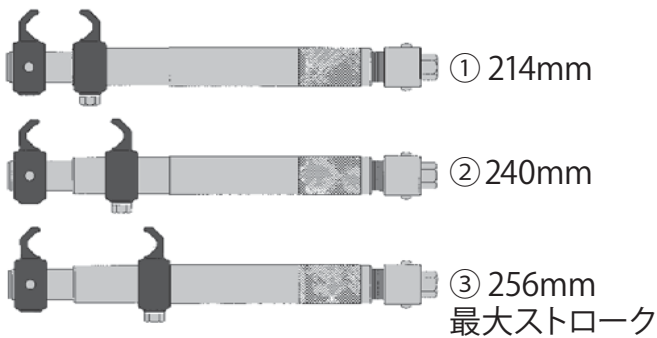
- <！> ストラット AASY は、必ず車両から取り外し安定した場所、状態で作業してください。
- <！> 1,000kg 以上の負荷では作業出来ません。(例：バネレート 5kg-mm のスプリングを自由長で 20cm 以上は圧縮できません。)
- <！> スプリングの圧縮し過ぎには注意してください。コイルどうしが接触したり、内外筒がぶつかると安全ピンが破断し、工具が損傷します。また、ゆるめ過ぎにも注意してください。内筒表面に抜け止め目印ミゾが出たら、それ以上は絶対にゆるめないでください。

  
**注意事項**

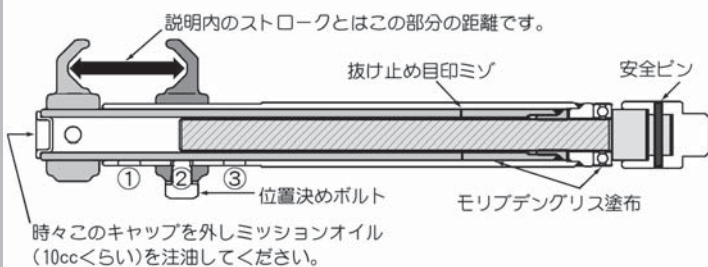


- ・作業車両の整備要領書、交換部品の取扱説明書を十分に確認し、注意事項を遵守して作業を行ってください。
- ・スプリングコンプレッサーの使用時は、必ず安全ゴーグルを着用してください。
- ・作業時の体勢は、スプリングの伸縮方向に顔など出さないよう不慮のトラブルに備えてください。
- ・作業前に、本製品に異常(亀裂、変形、摩耗、組付、作動時の不具合)がないことを十分に確認し、センターボルト、スラストベアリング、内筒表面には適時にモリブデングリスを塗布してください。また時々内筒底のグリスキャップを外し、ミッションオイルを注入してください。作業中に異常を感じたら、即中断し安全を確保した上で、工具のオーバーホールを行ってください。
- ・一部日産車等のテーパ形状のスプリングに使用の際は、スプリングの径が大きい方から工具を掛けられる様にセットしてください。(図参照)

使用方法



※ 10mm 以上余裕を見てご使用ください。



1. ストラット ASSY を必ず車両から外し、ストラット用バイスに固定します。
2. スプリングサイズに合わせて爪の位置を固定してください。通常は②の位置で (図参照) 巻の少ないものなどの収縮しきれないは①、スプリングが長くて収縮しきれない場合は③の位置で使用します。

※スプリング交換をする場合には、スプリングはストラットに収まっていた状態よりも伸びる事を考慮してセット位置を決めてください。本製品からスプリングを外す際に、最大ストロークを越えてしまう可能性があります。

3. コイルスプリングの両端に、爪が掛かる様な位置で、2本の本体を対向させてセットします。

※必ず、本体 2 本を 180 度対向する位置で使用して、コイルスプリングが湾曲するような状態を避けてセットしてください。

※テーパ形状のスプリングに使用の際は、径の大きい方からレンチを掛けられるようにセットしてください。

4. セーフティーフックをセットします。(後述の説明参照)
5. ラチェットハンドルまたはインパクトレンチで、2本の本体を交互に、数回転ずつ締め込んでください。

※インパクトレンチは、エア圧を 0.6MPa(6kg-cm<sup>2</sup>) 以下でご使用ください。

6. コイルスプリングの両端に、遊びが出来たら収縮完了です。ショックアブソーバーを交換してください。

※コイルスプリングの巻きと巻きが接触するまで締め込まないでください。

※最大ストローク以上に広げると、内外筒が抜けてコイルスプリングが外れ危険です。内筒に、目印ミゾが見えたら限界です。

※特に工具からスプリングを外す場合、十分に注意してください。またこの時は、スプリングに工具の爪が掛かっていた位置をマークしておくと、組み付けの際に便利です。

7. スプリングの組み込みは、5. の手順を逆回転 (ゆるめ) にスプリングレートとスプリングの末端位置を合わせながら行ってください。そして、ツールに遊びが出来たところで作業完了です。

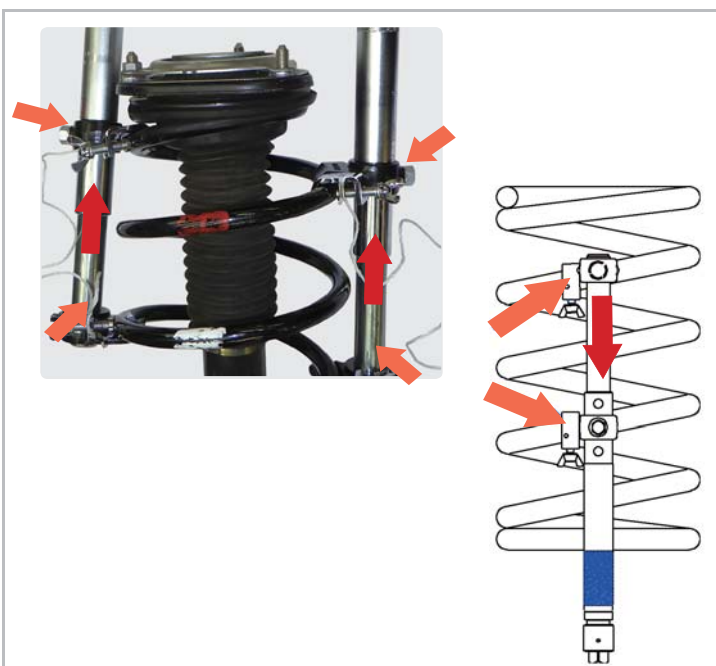
**KJ-914K-16 : セーフティフックセット取扱説明**



**注意**

本セットには、当社製品品名：コイルスプリングコンプレッサー  
 型式：KJ-914K 専用の安全補助具です。  
 誤った使用時の、爪の横ズレを防止します。  
 万が一の事故を避けるため、コイルスプリングの圧縮前に、  
 必ず取り付けてから作業を行ってください。

**使用方法**



コイルスプリングコンプレッサー：KJ-914K を  
 ストラットに正しくセッティングします。  
 本フックを、KJ-914K の爪の横に（左記の画像，図参照）  
 すき間を空けずにしっかり固定してください。  
 可動する方の爪（左記画像、図の場合は下側）の場合、  
 スプリングの圧縮方向に、巻きが下がっている側面に  
 取り付けます。本体固定側の爪は、どちらでも OK です。  
 また、フックの取付向けは、圧縮方向に対して、  
 外側からかぶせる様に取り付けてください。  
 コイルが密着した際に、  
 本フックがはさまってしまう事を回避できます。

**※本補助具は、絶対安全を保証をするものではありません。必ず工具側の取扱説明書を熟読し、注意事項を遵守して正しく作業を行ってください。**

**KJ-914K-12A : 安全ピン ( 予備 ) 取扱説明**



インパクトレンチを高圧で使用したり、コイルスプリングの巻きと巻きが完全に接触するなど、  
 極端に負荷が掛かり危険な状態になると、安全ピンが切れ、安全クラッチの作用によりその場  
 で空回りをします。この場合、予備の安全ピンを使用するか、細身のドライバーなどでセンター  
 ボルトを回転させ（※この時は絶対にインパクトレンチを使用しないでください。）  
 即安全な状態に戻してください。

**※この様な状態になると、本体各部で金属疲労が起き、内外筒が抜けるなど  
 事故の原因となります。そのまま安全ピンを交換して使用せず、各部の摩耗、亀裂などの  
 チェックを必ず行ってください。**

**※安全ピンを金属棒で代用したり、溶接などで固定する事は絶対にしないでください。  
 事故の原因となります。**

**※頻繁に安全ピンが切れる様な場合は、使用方法に無理があるか？  
 内部部品の劣化の疑いがあります。この様な場合は、点検、オーバーホールの必要があります。  
 ご購入の販売店または当社サービス部までご連絡ください。**